

達者です ⑤1

お店が生きがい

つじむらたね
辻村タ子さん

90歳 (境川区)

なくなりまして。途中でお客さんが来られると筋がわからなくなってしまうので最初から見ないようにしました」と話す。「歌謡曲も好きでよく見ます。敬老会では主人と一緒に歌っていました。主人は音痴でしたから私がついて歌っていました」と7年前亡くなられた夫との思い出話も。「でも最近は歌詞が出てきません。店でもよく口ずさんでいましたが、もう歌えんようになりました。もう年じゃからねー」と言う。「食べ物の好き嫌いはありません。お刺身が好きで毎日いただいています。毎日食べても飽きません。食べさせていることに感謝しています。息子夫婦のお陰です」と話す。いつまでも元気で看板娘として頑張ってください。

好奇心と探求心が人一倍旺盛な通読書会の会員は、年齢を問わず10人。月1回第4月曜日会員が集い、書くことに命を燃やし尽くした人達の、創造エネルギーの源泉を探り続けています。新鮮に瞬時に時代を超えて、魅了して止まぬ本がある。最も感性的な人間の感性の深奥に分

ルールは読む!

通読書会



内山 真利子さん

(通16区)

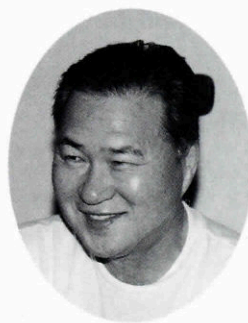
エンジン
仲間達

④8



け入る言葉の魔術が、一人の大人として(心の声)に耳を傾け「心に体力」をつけることのできる場です。通読書会は、宮野読書会、仙崎読書会の方々に、優しく、丁寧に指導していただいたり、また混合の旅行計画を立てたり親睦を深めています。会員一同、皆様のご加入を心から歓迎いたします。

「昭和49年、市の依頼により交通指導員を引き受けることになった。当時は、仙崎1人、東深川3人、西深川1人の5人が任命されたが、今は私だけとなった。毎朝7時35分から8時10分頃まで、中国電力長門サービセンターの前で交通指導員をしている。20年前に比べ交通量は増えたが、子ども達の数が減ったので楽になった」と話す。「初めは警察から交通整理の仕方の指導を受けた。あの頃は信号がなかったもので、状況を見ながら車を止めて自転車や歩道橋を渡れないお年寄りの方を通して信



竹内紀二さん
(藤中区)

子ども達の安全守って23年
▼長門市交通指導員▲

ちよっと小耳にはさんだ

④1

号に従って通していますが、歩行者用信号は短いので、かけ込んで来る子ども達に特に注意が必要。幸い私が立ち始めてからは事故は一件も発生していません」と言う。

「毎朝ですから、規律正しい生活ができます。夜更かしもしないよう心がけています。将来を託す子ども達が元気に通学して勉強してくれればと思つて頑張っています。体の続く限り努めたい」と話す。「最近の子ども達は雨の日でも長靴を履いて来る子供をほとんど見かけなくなつた。不思議に思っています」

